

北海道エゾシカ管理計画（第5期）素案に係る意見等

団体名・部課名	一般社団法人北海道自然保護協会
---------	-----------------

意見なし ・ 意見は以下のとおり

項目 (章等の番号)	意見等
計画名称	第4期計画において名称が「北海道エゾシカ管理計画」となり、「保護」が削除されたことについて意見を提出したが、昨今の被害状況からは管理強化は止むを得ないとしても、過去のエゾシカ数の増減のように、野生生物は一時的増加しても、気候ほかの環境や生態系の変化、人間の影響により、減少に転ずることがあり得ることを鑑み、科学的な生息数、生息分布、生態などの調査をしていただきたい。
第1章 4 計画の対象地域 (4) 各地域の状況 ア 東部地域【農林業被害の特徴】	平成8年度以降の被害の減少→増加→減少という変動の原因が曖昧である。最初の減少は対策実施によるものと思われるが、その後の増加と減少については、詳細な分析による原因の徹底究明が必要と考える。いくつかの推察される要因が挙げられてはいるが、推察ではなく、確実な要因を明らかにするための科学的調査研究を実施していただきたい。
第1章 4 計画の対象地域 (4) 各地域の状況 イ 西部地域【生息分布状況】	遺伝的研究から地域個体群構造について言及されているが、このような地域個体群構造の把握は管理に必要であり、今回このような情報が追加されたことは評価できる。西部地域のみならず、他地域でもこのような地域個体群構造の研究を推進していただきたい。
第2章 1 保護管理の目標 【(1) 基本的な目標 (全道対象)】	4つの目標が挙げられているが、最後の「絶滅の回避及び個体群の存続」は「絶滅の回避及び個体群並びにその生息域の存続」とし、エゾシカ個体群のみに目を向けるのではなく、生態系や生物多様性の保全を含む生態系管理の方向性を明確に打ち出すためにも「生息域の存続」も目標にすべきである。
第2章 2 目標達成のための方策 3 有効活用の推進	捕獲したエゾシカを有効に用いようという意図は理解できるが、供給される資源の利用法ばかりに目が向けられて、肝心の需要に対する分析が提示されていない。一部の食肉利用に関しては、需要が期待されるにせよ、その部分が過大評価になってはいないのか？ 広く大衆にとっての需要を分析せずに、消費拡大はあり得ないであろう。こうした社会科学的分析も計画立案には必要と考える。
第3章 計画の実施に向けて	道庁が中心になり、学識経験者からなる「エゾシカ対策有識者会議」や関連団体・機関からなる「全道エゾシカ対策協議会」、「地域連絡協議会」等の設置によって計画実施体制の強化を図ることは結構ではあるが、基本的なエゾシカの分布状況や地域の生態について、地元における人材（野生動物の専門家）を活用すべきである。全道レベルでの広範囲な分析となると細かな地域特性等への配置が欠落しがちになることがある。関連する総合振興局などに適当数の地域の専門家を配置し、道の関連研究機関あるいは大学の関連研究室と共同で、エゾシカの分布やその変化、個体数の把握や地域的変遷、生態などの科学的・定量的データの集積とその分析を進めていただきたい。地域の狩猟者の確保には努力が払われ

	ているが、地域一体となった計画実施体制の確立のためには、他の側面、とりわけ基本的データの収集等における人材の養成・活用と予算の確保は不可欠である。今回の「北海道エゾシカ管理計画」および今後の計画において、十分な配慮をいただきたい。
第3章 個体数指数による管理目標【地域別目標】 の設定 6頁	第4期計画に対して目標が十分に達せられていない状況において、第4期よりさらに低い個体数指数を目標値とすることに整合性が感じられない。様々なシミュレーションを用いて個体数推移を推定し、過去に絶滅危機に陥ったことも配慮しての長期的管理プランのもとに立てられる計画ゆえの措置と推察するが、こうした構造は研究者以外には伝わりづらい。最終目標の達成をいつ頃と想定し、現状が長期的管理のどの時点にあるのかについて、野生動物対策における施策の実施と効果が表れるタイムラグなどの説明も加えて、当該時期の中期計画を説明する姿勢が必要と考える。
牧草被害調査に対する要望	2012年も2015年も、農林業被害額の中でも牧草被害が額として約半分を占めているが、牧草の単価は小さいことを考慮すると、エゾシカの餌バイオマスとしてはかなりの量を占める可能性がある。牧草被害の状況を詳細に調べることが重要であり、エゾシカ個体数と牧草被害の関連について調査研究を実施していただきたい。
森林被害の実態と影響のより詳細な記載に関する要望	林業被害については、毎年金額は示されるが、その実態と特に金額には出てこない森林生態系に与える影響については記述や考察がない。この点の改善を求める。
農業被害と森林被害に関する要望	シカ柵などで畑地を防御すると森林被害が増大するのでやめてほしい、という意見も聞かれる。農業被害防止と森林被害拡大の関連性についても、農林分野のみならず、社会科学の調査も加えて調査研究の充実を図っていただきたい。

※意見の有無は○で囲ってください。

※行が不足する場合は追加してください。

※項目欄は、該当がある場合に記入してください。